

おうちのかたへ

ポピー認定算数マスターズにご参加いただきまして、ありがとうございます。

この算数マスターズは、学校で習った知識を問うものでなく、算数の問題をとおして、お子さんの「思考力(考える力)」を見つけ出し認めるポピー独自の認定制度です。

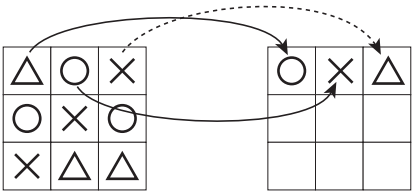
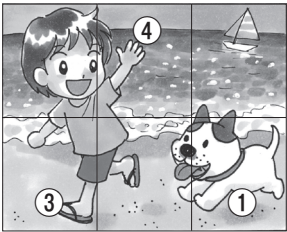
子どもは、自分のもっている「ちから」を認められることで達成感を味わうことができ、これが自信となって次のステップに進もう、という意欲につながります。

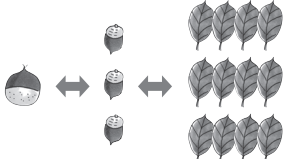
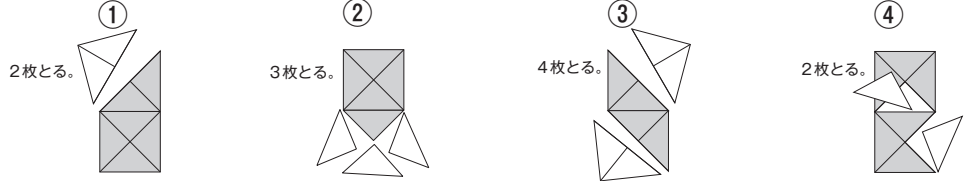
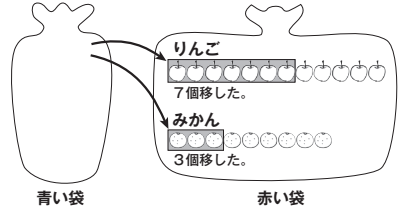
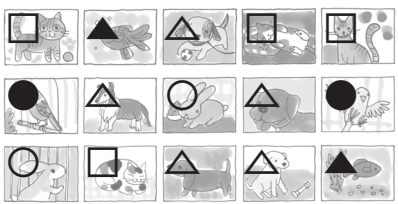
ポピーは、子どもの学ぶ意欲とがんばりを、大切にしたいと思っています。

全日本家庭教育研究会 小学ポピー編集部

ポピー認定 算数マスターズ(7月号)の答えと解説

Q1000 1・2年

問題	正答	正答率	解説
Q 1	④	88.2%	下のように、1つずつ確かめながら考えましょう。 
Q 2	③	99.4%	①には、りんごがありません。②には、みかんがありません。 ③には、ぜんぶあります。④には、いちごがありません。 ですから、答えは③です。
Q 3	④	95.7%	上から順に考えていきます。 三角形の紙が一番上にあります。その下に円形の紙があります。 その下に四角形の紙があります。その下にハート形の紙があります。 一番下に×形の紙があります。 ですから、下から2番目の紙はハート形の④になります。
Q 4	③	90.3%	カレンダーでは横に並んだ日付の数は、左から右へ1ずつ大きくなりますから、7の右は8になります。 また、2段目の数は真上の数に7をたした数になりますから、?のところに入るのは8に7をたした、15になります。
Q 5	②	98.9%	全部の絵を組み合わせると下のようになります。 ②は水平線と空があるので、上段の真ん中しか入る場所がありませんが、男の子の顔の横の部分や肩などが描かれていないので、ちがいます。 

Q 6	④	71.3%	<p>くり1個はどんぐり3個と取り替えられ、どんぐり1個は葉っぱ4枚と取り替えられますから、くり1個は葉っぱ12枚と取り替えられます。</p>  <p>ですから、くり2個では、葉っぱ24枚と取り替えられます。</p>
Q 7	②	91.0%	<p>①～④は、三角形をどのように取るとできる形かを調べます。</p>  <p>① 2枚とる。 ② 3枚とる。 ③ 4枚とる。 ④ 2枚とる。</p> <p>ですから、答えは②になります。</p>
Q 8	③	84.4%	<p>赤い袋にいま入っている数から、移した数をひいて考えます。</p> <p><りんご> 7個移したのですから、はじめに赤い袋に入っていたのは $12 - 7 = 5$ 5個</p> <p><みかん> 3個移したのですから、はじめに赤い袋に入っていたのは $9 - 3 = 6$ 6個</p>  <p>青い袋 赤い袋</p>
Q 9	①	90.1%	<p>数えやすいように、記号をつけてみましょう。</p>  <p>うさぎは、○をつけた2枚。犬は、△をつけた5枚。 ねこは、□をつけた4枚。インコは、●をつけた2枚。 金魚は、▲をつけた2枚。 グラフの数を確かめると、①が答えだとわかります。</p>
Q 10	④	95.1%	<p>三角形になるように組み合わせることができるのは、オとキだけです。</p> 